

平成30年度市民活動推進事業の
事業報告及び収支決算書

事業
成果

◎ 事業名：ドローンを用いた災害情報等収集・表示システム

1 一般事業活動

- (1)平成29年9月から設立準備を開始
- (2)4月2日(月)に法人登記を完了
- (3)高齢者等の職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動の一環として、自衛隊OBで組織する団体である「三重県隊友会」の主として津市及び伊勢市在住の会員に対し、募集チラシ1,500枚を配布して会員獲得中
- (4)地域振興及び環境保全活動の一環として、遺品整理及び廃棄物処理業務を実施中

2 災害救援活動としてのドローン関連事業の基盤整備

- (1)平成30年度市民活動推進交付金の交付対象事業決定を受け、「みえ地震対策の日シンポジウム」等に研修参加するとともに、団体の経費負担により1名のドローン操縦技能資格者を養成(8/1)
- (2)当会伊勢支部において、まちづくり協議会との協力態勢を整備中
 - 台風21号・24号におけるドローンの実践活用を研修(9/5、10/1)
 - 自治会の防災訓練におけるドローンの展示飛行を研修(11/25)
 - 小学校の防災授業の講師として、防災訓練及びドローン運用を教育(12/20)
- (3)ドローン・プロジェクト会議を開催して、「ドローン事業部」の設立を検討
- (4)「ドローン運用管理規程」、「飛行マニュアル」を策定(1/3)
- (5)飛行訓練場の確保及びドローンの事業化に向け、津市危機管理部と意見調整中
 - 津市役所危機管理課を訪問し、ドローン操縦講習会場を予定している「津市雲出地区防災コミュニティーセンター」の利用登録を完了(1/10)
- (6)平成30年度市民活動推進交付金を利用してドローン2セット及びをシミュレーターソフト2セットを取得(1/14)
- (7)取得したドローンによる操縦訓練を3回実施。(2/3, 2/9, 3/24)

3 事業に伴う効果・実績

- (1)直接的効果

元自衛隊員として培った災害派遣活動の経験、及び防災士資格者を有する特性を活かし、本事業による上空からの映像情報により迅速・的確な災害救援活動実施に必要な基盤整備ができた。
- (2)間接的効果
 - 市民セレクション参加団体及び周辺自治会等から防災訓練や広報活動の場でのドローンによる撮影要請があった。
 - ネット通販を最大限に活用したことで安価な機器獲得ができ、交付金の有効利用という経済的効果があった。

※収支決算書は裏面

収 入			支 出		
項目及び内容	金 額	市費充当額	項目及び内容	金 額	市費充当額
	円	円		円	円
市交付金	200,000	200,000	備品購入費	403,318	200,000
自己資金	251,378		保険料	26,460	
			操縦技能証明書発行代金	21,600	
合 計	451,378	200,000	合 計	451,378	200,000